**様式第６号**

記載例

取組実施者で秋肥・春肥、各市町村分の取組状況をまとめ、

令和5年12月8日まで山形県再生協に直接提出して下さい。

番　　　号

令和５年１２月１日

山形県再生協議会長　殿

所在地　　　　山形市松波２-８-１

取組実施者名　山形肥料店

代表者氏名　　村山太郎

令和５年度肥料価格高騰対策事業取組中間報告書

支援金の申請時に提出した様式1－3号（化学肥料低減計画書）を確認し、取組実施者がとりまとめた農業者の取組んだメニューを全て記載して下さい。

①どのような取組を実施したのか

②どの程度取組が進んでいるのか取組前（※様式1－3号「化学肥料低減計画書」参照）と現在（使用記録等の証拠書類）を比べて記載して下さい。

肥料価格高騰対策事業実施要領（令和３年12月20日付け３農産第2156号農林水産省農産局長通知）第13の規定に基づき、下記のとおり報告する。

記

取組の実施状況

|  |  |
| --- | --- |
| 取組メニュー | 取組の実施状況 |
| ア　土壌診断による施肥設計 | このメニューを選択した農業者のほとんどが令和５年の春までに土壌診断を行い、令和５年度の施肥設計に反映した。このメニューを選択した農業者のおよそ半数は今回新たに取組を実施した。 |
| エ　堆肥の利用 | このメニューを選択した農業者の多くは牛糞堆肥の施用を、およそ２割が鶏糞堆肥の施用を行った。牛糞堆肥の施用はほとんどの農業者が実施済みであったが、鶏糞堆肥の施用は今回新たに取組を実施した農業者がほとんどであった。 |
| コ　低成分肥料の利用 | このメニューを選択した農業者の多くは水稲でL型肥料の施用を行った。ほとんどの農業者はこれまでも実施してきた取組みの継続であった。 |

（注）

１　取組メニューには、取組実施者において取り組んでいるメニューを記入し、適宜、行を追加すること。

２　参加農業者が、中間期間までにどのような取組を行ったのか、また、取組前と比べてどの程度取組が進んでいるか、使用記録等を参照し記入してください。